

FPTデジタルリテール(FRT)

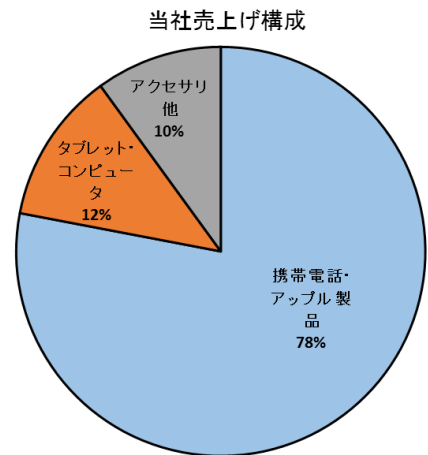
お問い合わせ
フリーダイヤル:0120-411-965
ホームページアドレス: <http://www.news-sec.co.jp>

<会社概要>

ベトナムでモバイルワールドに次ぐ携帯電話・IT機器の小売業者である当社は携帯電話とアップル製品が売上げの78%を占める。モバイルワールドの市場シェアは約4割、当社の市場シェアは約2割と見られこの2社で市場の6割を占める。ベトナム大手IT企業で世界的にも有名になったFPTが主要株主となっている。

小売販売ルートとして様々なメーカー製品を扱うFPTショップとアップルの製品のみを扱うFスタジオの2つの店舗網を有している。2017年における店舗数は473か店、前年比約2割増で店舗数を伸ばした。2018年と2019年に約200か店をオープンする計画と報じられている。

最近では医薬品小売店舗を有する企業を買収した。2017年は5か店オープンし、2018年に30か店、2019年に80か店、2020年に120か店オープンする計画も発表されている。



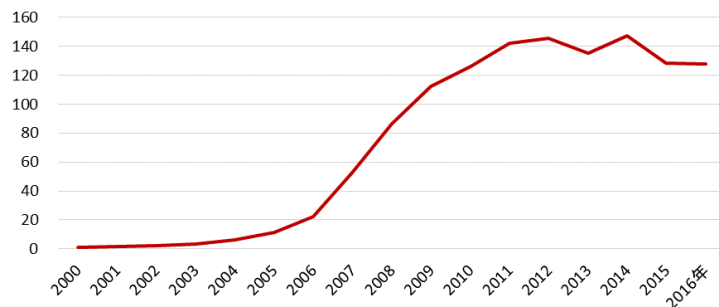
(出所) ACBS, 2017年

<業績見通し>

当社の売上げ、利益は順調に推移しており今後とも成長率は鈍化しても売上げの伸びは期待される。当社は通信キャリア企業のベトナムモバイルやモビフォンと提携して消費者が通信機器を安く購入するかわりに通信キャリア企業との契約を一定期間解約しないといった販売方式も採用しており、こうした販売形態も売上げに貢献している。

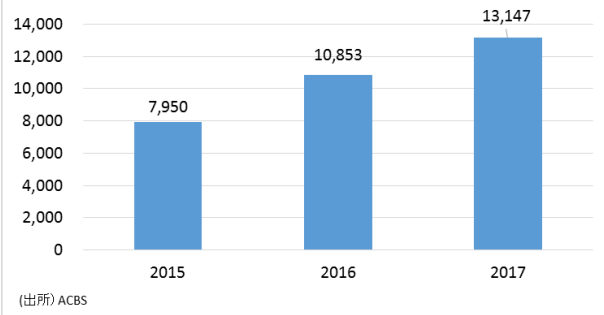
ベトナムの携帯電話市場は普及が一段落しており、すでに住民100人あたりの携帯電話契約数は127と1人あたり1契約以上を保有している。携帯電話の普及率は2012年ごろから横ばいに推移しており、従来型の携帯電話の市場はすでに飽和状態に近づきつつある可能性もある。しかしIoTなどインターネットとさまざまな家庭用電気製品とのつながりは拡大していくことが予想され通信機器は機能向上による買い替え需要が期待される。

ベトナムの携帯電話普及率



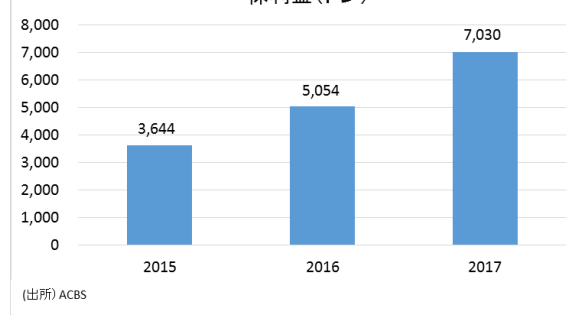
(注) 住民100人あたりの契約数
(出所) ITU

売上げ(10億ドン)



(出所) ACBS

一株利益(ドン)



(出所) ACBS

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限 作成日より6ヶ月

News20180425

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。